令和７年９月２４日

九鬼氏ゆかりのまちサミットｉｎ綾部を初開催＝１０月２１日
綾部藩九鬼氏の末裔や鳥羽市、三田市の関係者など招き実施

九鬼氏ゆかりのまちサミットｉｎ綾部を１０月２１日、初開催する。主催は同実行委員会（委員長、山崎善也・綾部市長）。サミットには、綾部藩九鬼氏の末裔のほか、九鬼氏ゆかりのまちである鳥羽市や三田市の関係者なども招く。

綾部藩九鬼氏の歴史資源を活用し、ゆかりのまち相互の交流等を進めることにより、本市の魅力発信と観光振興などにつなげることが目的。さらに、郷土愛の醸成や地域資源の発掘・創出等も図る。

サミットでは、綾部藩九鬼氏の末裔で熊野本宮大社（和歌山県田辺市）の宮司である九鬼家隆（くき・いえたか）さんを招くとともに、九度山・真田ミュージアム（同県九度山町）名誉館長の北川央（きたがわ・ひろし）さんの講演などを予定している。

また、翌２２日には、市外からの参加者を対象に市内の九鬼氏ゆかりの地を巡る現地視察を行う。

記

１　九鬼氏ゆかりのまちサミットｉｎ綾部

①日　時　　１０月２１日（火）午後２時～５時
②場　所　　あやテラス・ホール（青野町）
③内　容　　・オープニング　綾部太鼓、綾部踊り
・基調講演　　九度山・真田ミュージアム名誉館長　北川央さん
・パネルディスカッション（予定）
熊野本宮大社宮司　九鬼家隆さん
九度山・真田ミュージアム名誉館長　北川央さん
ＮＰＯ法人歴史文化財ネットワークさんだ理事
池田洋介（いけだ・ようすけ）さん
・パネル・遺物等の展示

２　現地視察

①日　時　　１０月２２日（水）午前９時～１１時
②内　容　　九鬼家菩提寺の隆興寺（神宮寺町）や正暦寺（寺町）など市内の九鬼氏ゆかりの地を巡る

３　実行委員会構成団体

綾部市、綾部市教育委員会、綾部踊り保存会、綾部市観光協会、綾部史談会、綾部市文化協会、綾部商工会議所、あやべ太鼓保存会、綾部の文化財を守る会

大名家としての九鬼家は嘉隆、守隆と続いたが、守隆の三男・隆季と五男・久隆との間の家督争いの結果、九鬼氏の水軍力を恐れた徳川幕府の裁定により故郷鳥羽を追われ、隆季は丹波綾部に、久隆は摂津三田にと、それぞれ海のない内地へ国替えを命じられた。このことから、綾部・鳥羽・三田の３市は、九鬼を介しての貴重なつながりがある。

【本市のこれまでの取り組み】
・令和６年１０月
九鬼氏をテーマに鳥羽市・三田市から歴史資料を借り、資料館で特別展示を実施。また、鳥羽市教育委員会から文化財専門員の豊田祥三（とよだ・しょうぞう）さんを招き、九鬼氏のルーツを学ぶ講演会を開催。
・令和７年３月
第１０回あやべ市民大学で、九鬼家隆さんや北川央さんの講演会を行った。

＜問い合わせ＞
同実行委員会事務局
企画政策課　課長　鎌部秀樹　電話０７７３（４２）４２１７

九鬼氏ゆかりのまちサミット in 綾部の概要

１　目的

綾部藩九鬼氏の歴史資源を活用しゆかりのまち相互の交流や観光誘致等を進めることにより、綾部市の地域ブランド力向上と観光振興、地元商工業の売上や新規事業の促進を図る。また、住民参加型の文化体験や講演、展示を通じた住民の郷土意識の醸成や地域資源の発掘・創出等により、持続可能なまちづくりを実現し、市の経済や文化の発展に寄与することを目的とする。

２　概要

・実施主体：九鬼氏ゆかりのまちサミット in 綾部実行委員会
・構成団体：綾部市、綾部市教育委員会、綾部踊り保存会、綾部市観光協会、綾部史談会、綾部市文化協会、綾部商工会議所、あやべ太鼓保存会、綾部の文化財を守る会
・開 催 日：１０月２１日（火）、２２日（水）
・会　　場：あやテラス・ホール（青野町）
・内　　容：オープニング、基調講演、対談、パネル・遺物等の展示、現地視察ほか
・参 加 者：九鬼家隆氏、北川央氏、NPO 法人歴史文化財ネットワークさんだ、関連する自治体の関係者、市民

３　プログラム（案）　**※詳細は現在調整中**

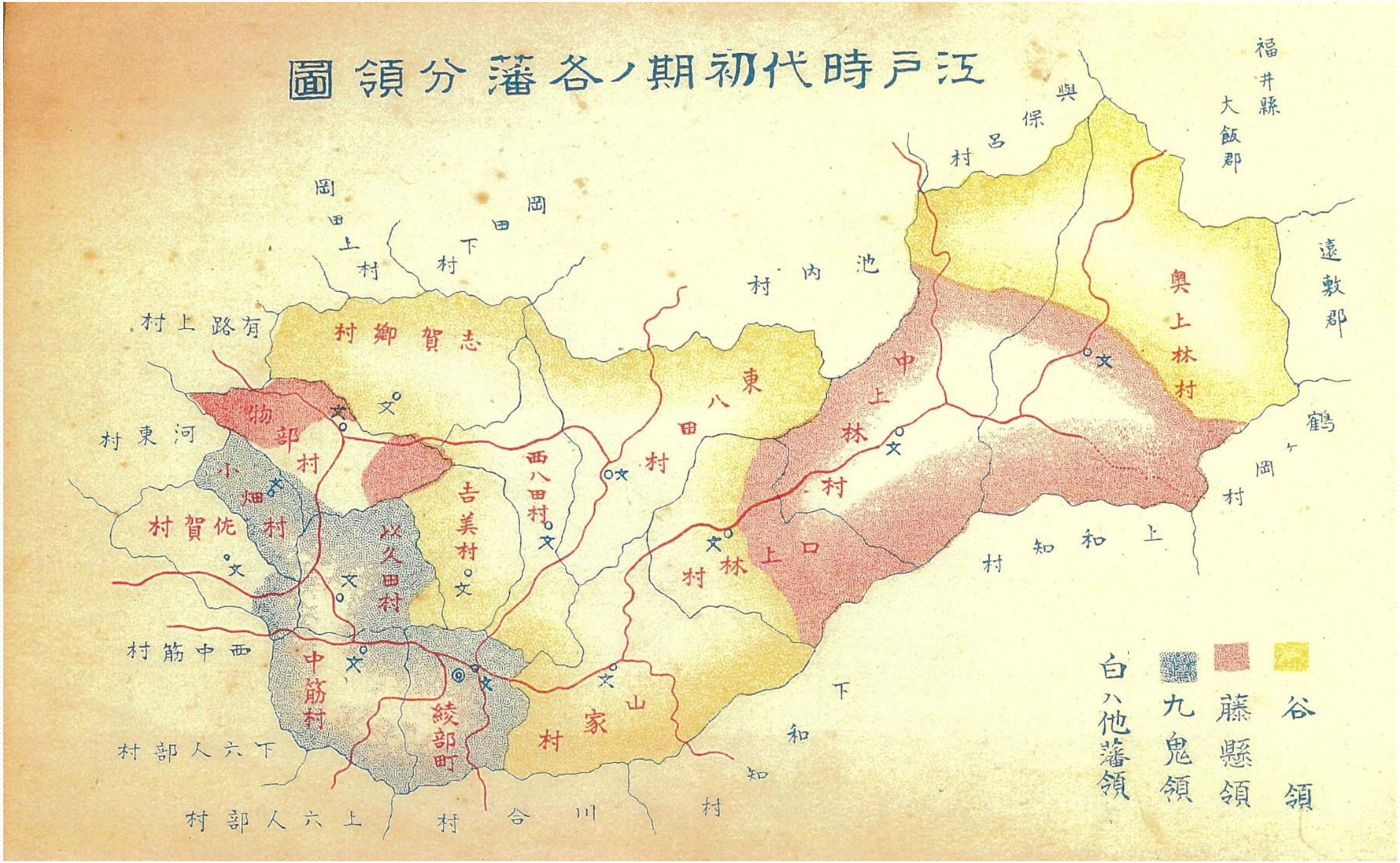
（１）サミット　１０月２１日（火）午後２時～５時

午後２時～　　オープニング：あやべ太鼓、綾部踊り
午後２時２０分～　開会：綾部市長挨拶、来賓祝辞、九鬼家隆氏あいさつ
午後２時４０分～　基調講演：九鬼氏の専門家による講演（北川央氏等）
午後４時０５分～　パネルディスカッション：北川央氏、九鬼家隆氏、NPO 法人歴史文化財ネットワークさんだ　池田洋介氏
午後４時４５分～　閉会式：サミット宣言採択、記念写真

（２）現地視察　１０月２２日（水）午前９時～１１時

参加対象は市外参加者のみ。行政バスで移動。

午前　９時～　　ＪＲ綾部駅→本町通り→熊野新宮神社→大本→綾機平→若宮神社
午前　９時１５分～　隆興寺・田町の坂（下車）
午前１０時～　　正暦寺（下車）
午前１０時３０分～　グンゼスクエア・特産館（下車）
午前１１時　　ＪＲ綾部駅着・解散


江戸時代初期ノ各藩分領圖
福井縣
大飯郡
遠敷郡
鶴ヶ岡村
上林村
奥上林村
中上林村
東八田村
西八田村
吉美村
志賀郷村
物部村
小畑村
佐賀村
久田村
中筋村
綾部町
山家村
池内村
岡田上村
岡田下村
有路上村
河東村
西中筋村
下六人部村
上六人部村
谷川村
下和知村
上和知村
谷領
藤縣領
九鬼領
白八他藩領

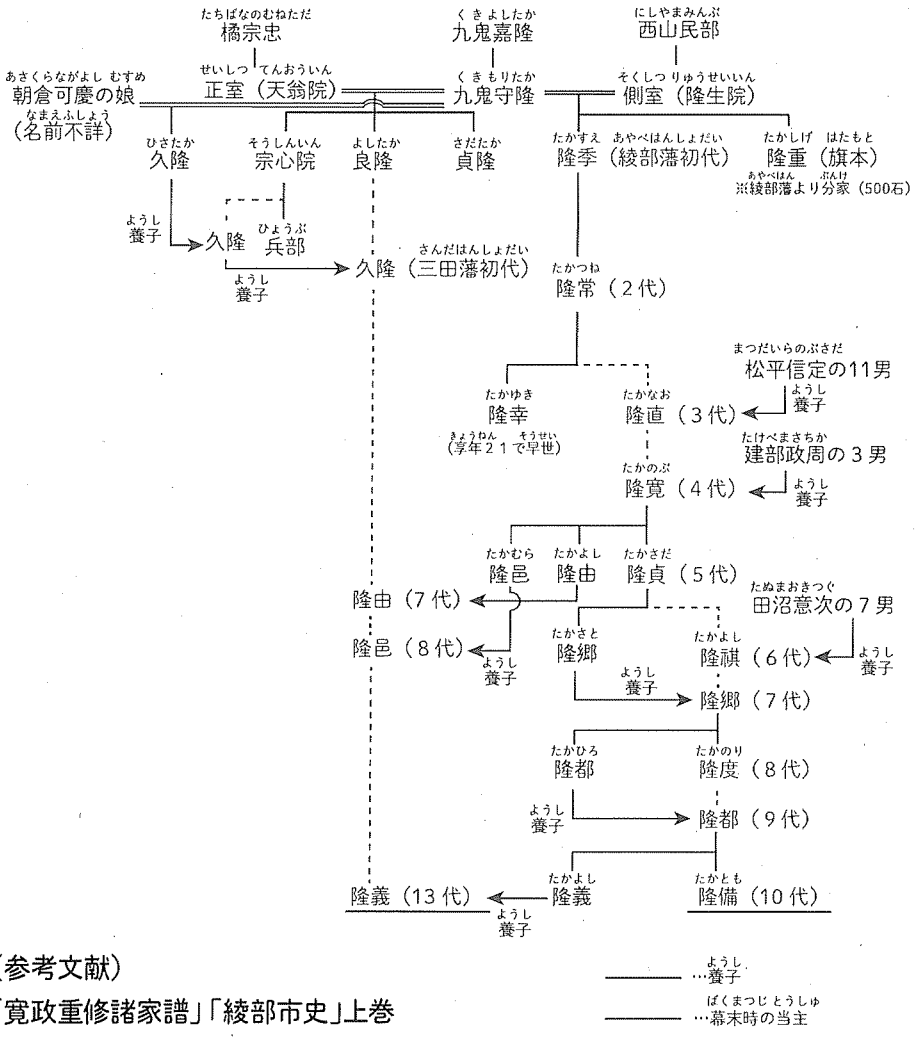
出典:何鹿郡誌　全

九鬼氏の御家騒動と水軍の終焉

九鬼守隆には正室の子良隆がいましたが病弱で家督相続を辞退し、後継者と目された次男貞隆も24歳で病死したことで、寛永9年(1632)に御家騒動が勃発します。守隆がまず声をかけたのは側室の子三男隆季でした。一方、守隆の正室の娘(宗心院)とその子九鬼兵部らは守隆を説得し、宗心院の養子の久隆(守隆庶子)を良隆の養子にし、正統な後継者としたことで、九鬼家中は隆季派と久隆派に分裂しました。守隆は最終的に後継者を久隆とし、隆季に1万石を分知することで決定を下しました。しかし、直後に守隆が没し、九鬼家臣団が御家騒動を再燃させたことにより、ついに江戸幕府が介入しました。

その結果、久隆は三田へ、隆季には綾部が与えられ、内陸へ移された九鬼氏の水軍は終焉を迎えました。

九鬼氏家系図



(参考文献)
「寛政重修諸家譜」「綾部市史」上巻

綾部藩ゆかりの寺

隆興寺

九鬼家の菩提寺として 1632 年に開創。代々の藩主の帰依を受けて、藩内の臨済宗寺院数ヶ寺を末寺に持つ。

境内地には、九鬼家代々の神道的な墓所を始め、九鬼隆季公が伏見稲荷神社から特別に遷宮を許され、以後当寺の守護神として祀られた格式ある稲荷神社などがある。

正暦寺

初代綾部藩主・九鬼隆季が入って以来九鬼家の祈願寺に。現在の伽藍（山門・本堂・庫裏・鎮守堂など）は九鬼家の庇護によって江戸時代後期に整えられた。

○九鬼家からは参勤交代の交通安全祈願に信仰されていた不動明王立像や駕籠の寄進を受けたといわれている。